

嬉野中川

まちづくり ニュース



— 第88号 —

令和4年7月1日

嬉野中川まちづくり協議会

広報部

☎0598-67-8908

皆様のおかげで書面議決による総会も無事終了し、役員会、理事会が開催され令和4年度事業推進の母体である各部会員も会長より委嘱されました。

部会長の皆様は下記の通りです。(敬称略) 一年間どうぞよろしくお願い致します。

本年度も、新型コロナウイルスの影響により行事等が流動的になる事が予想されます。その都度ニュース・回覧等でお知らせさせていただきますので、ご確認いただきます様よろしくお願い致します。



自治会部会	塩谷 測一	防犯防災部会	松田 広司	広報部会	佐藤 和久
健康福祉部会	中 甫	公民館部会	廣瀬 民雄		
環境美化部会	石崎 富雄	体育部会	渡辺 洋三		

『みんなが参加できる活動を』のもと、中川の新しい地域づくりを



嬉野中川まちづくり協議会

会長 津村 善博



平素は、中川まちづくり協議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年度の各種事業を実施する7部会の構成メンバーも決まり、いよいよ活動です。

『みんなが参加できる活動を』をスローガンに掲げ、三重県のコロナ感染拡大防止の指針に則って、それぞれの部会では事業を進めていきます。それらの事業に参画・参加していただき、多くの意見をいただきたいと思います。

最後になりましたが、中川地区の皆さん、一人ひとりが基本的感染対策の3つの基本を忘れずに、健康にご留意していただき、お過ごしいただきたいと思います。



中川小学校では令和5年度からコミュニティ・スクールが始まります

中川小学校校長 尾崎 佳広

【コミュニティ・スクールの設置に向けて】

これまで地域連携教育活動は、学校は学校、保護者は保護者、地域は地域と、それぞれに違った願いや目標を設定した活動がありました。

また、多様な社会の変化に伴い、家族形態の変化、価値観やライフスタイルの多様化といったように、地域社会における支え合いやつながりが希薄化し、地域社会の教育力が低下してきました。

そこで、『学校を核とした地域づくり』の推進が、中央教育審議会の答申で出されました。それが『コミュニティ・スクール』の設置です。

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、協働しながら子供たちの豊かな成長を支え『地域とともにある学校づくり』を進める仕組みで、『学校運営協議会』を設置した学校のことです。



コミュニティ・スクールを進めることで、以下の魅力が広がります。

【子供にとっての魅力】

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。等

【教職員にとっての魅力】

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。等

【保護者にとっての魅力】

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。等

【地域の人々にとっての魅力】

- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。等



これまでのような『助ける』『助けられる』といった学校支援ボランティアを進めるだけの学校から、『子供も大人も学び合い育ち合う教育体制』を目指します。